

「教育機関DXシンポ」

「データ利活用による個別最適な支援」

～大阪市におけるスマートスクール次世代支援事業～

文部科学省 「新時代の学びにおける先端技術導入実証研究事業

(エビデンスに基づいた学校教育の改善に向けた実証事業)」

総務省 「スマートスクール・プラットフォーム実証事業」

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1387543.htm

大阪市教育委員会事務局 学校運営支援センター

教育ICT担当課長 高橋直樹

山本圭作

文部科学省初等中等教育局 ICT活用教育アドバイザー



大阪市の学校(園)概要



学校数

小学	286校
中学	130校
高校	21校
幼稚園	52園

489校園



教員数

小学	7,807人
中学	4,365人
高校	1,013人
幼稚園	347人

13,532人

24行政区
人口273万人
152万世帯

小学	114,027人
中学	52,082人
高校	11,381人
幼稚園	3,277人

180,767人



幼児・児童・
生徒数

学級数

小学校	5,300
中学校	2,098

※2021 (R3) 5



次世代学校支援モデル構築事業

文部科学省「新時代の学びにおける先端技術導入実証研究事業」

総務省「スマートスクール・プラットフォーム実証事業」

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1387543.htm

実証事業の目的

有益なデータ（エビデンス）の可視化を実現

学校に「教育データ（ダッシュボード）」を提供し学校運営での利活用を図る。「ダッシュボード」では、児童生徒、教員、管理職、それぞれにとって有益なデータ（エビデンス）の可視化を図る。データ利活用が教育の質の向上に資するかを実証する。

■本実証事業で取り組む内容

事業計画策定にあたり、学校へ合計**47**回の「データ活用に対する期待や要望」のヒアリングを行い、**111**個のヒアリング項目を整理し、以下の3テーマを設定した。

テーマ	詳細
I. 学力・体力の向上	学習サイクルの定量評価やその結果に基づく教員の行動変革を通じて学力向上を実現する
II. 安心・安全な学校	授業満足度や日々の充実度と校務系データを組み合わせ、教員の即時対応力の向上および個別最適な支援を実現する
III. 学校運営の充実	校務系、学習系データを合わせ、学校の現況や児童生徒理解を進めるなど管理職・教員の学校運営・学級運営の充実を図る。

■学校に提供する新しい価値

校務系システム
さらなる活用



学習系システム新規導入
小学校：デジタルドリル/心の天気
中学校：デジタルテスト/心の天気



ダッシュボード
校務・学習データ
組み合わせ

市内5校の小・中学校（児童生徒約1,000人）で校務・学習データが連携した教育データ可視化システムを活用し、教育の質の向上に資するかを実証（H29～H31）

■ダッシュボードの最終イメージ

12個の
ニーズ

8つの
データ



児童生徒ボード：児童生徒の状況を一覧化して試みることができる画面

児童生徒ボード

3年1組

16番 山本 太郎

学級ボード

個別指導の記録

元氣小学校
なにわ 太郎

ログアウト

16番 やまもと たろう
山本 太郎

家庭のようす

TOPIC

- ・母親とケンカし、イライラしがち。(2019年9月13日：なにわ 太郎)
- ・家庭環境の変化から1学期は休みがち。(2019年6月14日：なにわ 太郎)

基本情報

【正式名】
正式姓 正式名
せいしきせい たろう
【生年月日】
2011年5月3日
【郵便番号】

配慮事項

- ・アトピーのお薬を服用しています。(2019年6月14日：なにわ 太郎)
- ・個別的教育支援計画／個別の指導計画あり(2019年4月10日：なにわ 太郎)

生活のようす

共有TOPIC

- ※の登録率が57%増加（77%-20%）
- ※の登録率が50%減少（3%-53%）
- ・2（2019年11月12日：なにわ 太郎）

いいところみつけなど 6件／年度

- ・先生に元気よく挨拶をしていました。(2019年6月14日：なにわ 太郎)
- ・掃除を一生懸命やっていました。(2019年6月14日：なにわ 太郎)
- ・生活の様子、気づいた日遅い

出欠／健康観察 11月8日（金）～11月22日（金）

8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	11月22日（金）
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	

31(60%) 2(4%) 17(33%) 2(4%)

保健室利用 26件／過去1年

- ・2019年11月22日（金）
9:00～14:00 その他
- ・2019年11月13日（水）
内科（下痢）
- ・2019年11月12日（火）
13:00～13:01 その他

出欠／健康観察（過去6か月間）

	12	1	2	3	4	5
病欠・事欠	0	1	0	0	6	3
出席・忌引	0	0	0	0	0	2
遅刻・早退	0	1	0	0	0	5
体調不良（健康観察）	2	1	0	8	0	2
保健室利用	2	2	0	0	0	6
	11	14	0	0	0	13
	1	1	0	0	0	2
	1	0	0	0	0	3

学習のようす

共有TOPIC

- ・授業中、集中できずクラスメイトの邪魔をしてしまう場面があったので注意した。(2019年11月22日：なにわ 太郎)
- ・4（2019年11月12日：なにわ 太郎）

いいところみつけなど 9件／年度

- ・苦手だったリコーダーも練習して上手にふけるようになりました。(2019年6月14日：なにわ 太郎)
- ・学習の様子気づいた日遅い(2019年6月12日：なにわ 太郎) 【2018年度】
- ・2018年度学習の様子(2018年度)

成績 5学年 3学期

	国語	社会	算数	理科	音楽	図画工作	家庭	体育
観点別評価	AAABA	BBAB	BAAB	AAAA	BBBC	BABB	ABAA	ABAB
評定	3	2	2	3	1	2	1	2

行動の記録

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5	観点6	観点7	観点8	観点9	観点10
○	○	○	-	○	○	-	○	○	○

道徳

【所見】 楽しい学校生活を過ごすことをテーマにした「しょうたの手紙」では、仲間外れにされた主人公の気持ちに寄り添い、どうすればいいかを考えていました。学習の中で、友達に嫌なことを言うのはやめようという感想をもちました。

特別活動

- 【学級活動】 保健係
- 【児童会活動】 給食委員
- 【クラブ活動】 サッカー部
- 【学校行事】 自然宿泊活動
- 【その他】 その他

所見

みんなを楽しませようというサービス精神が旺盛で、明るい雰囲気を作ってくれました。友達との接し方や言葉づかいをどうしたら良いか自分で考えることができました。

総合的な学習の時間

テーマ1

【学習活動】 僕らの町じまん

【所見】 地域の様子を自主的に調べ友達と協力して発表することが出来ました。

外国語活動

学習活動1

【学習活動】 学習1

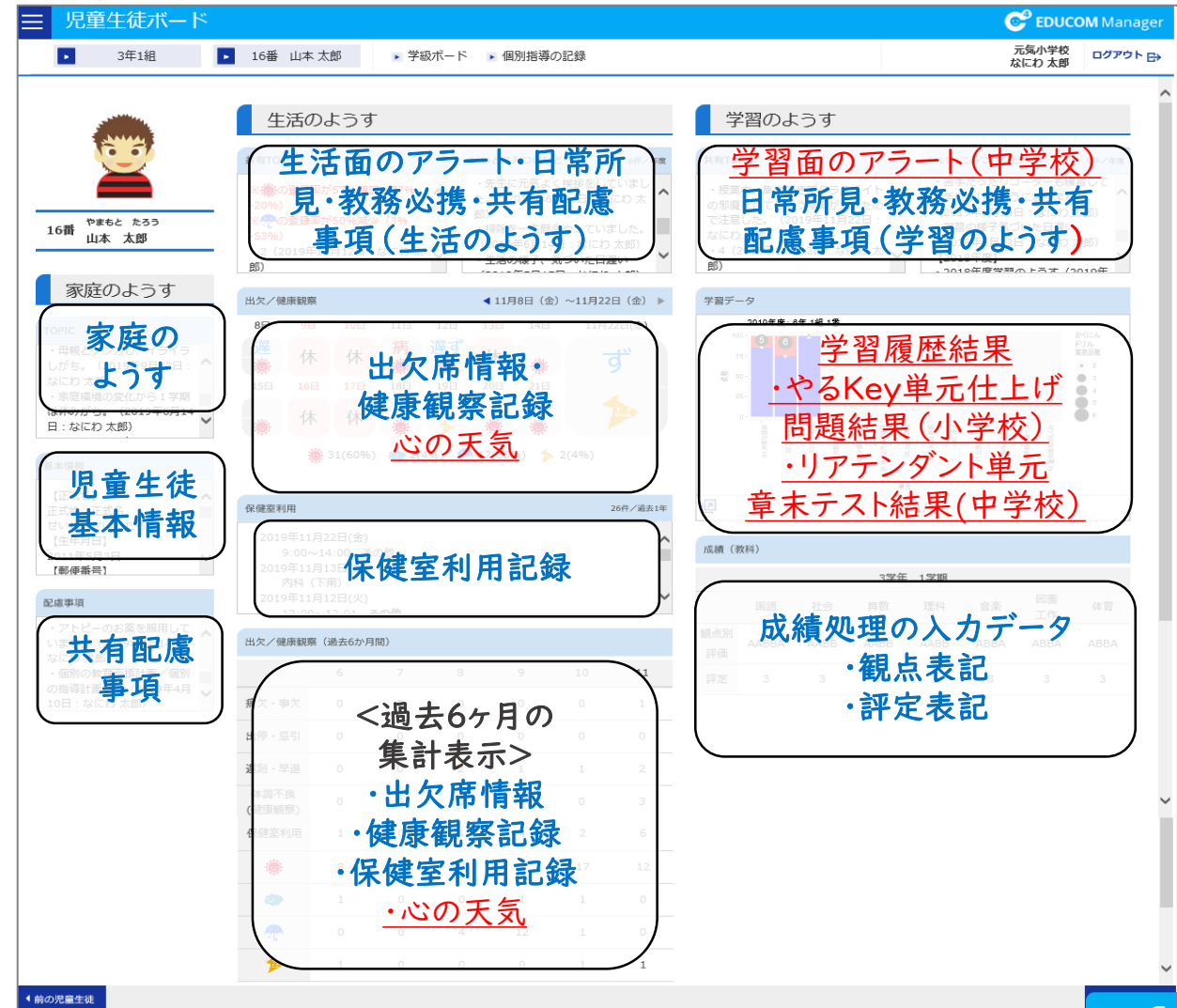
【所見】 月や曜日などを音楽に合わせて知る活動を通して英語に親しむことができました。

前の児童生徒

次の児童生徒

『児童生徒ボード』
では個に応じた指導、
学校全体での情報共有

凡例
赤字(太字):校務系データ
青字(下線):学習系データ



学級ボード：学級の一覧化して試みることが出来る画面

凡例
赤字(太字):校務系データ
青字(下線):学習系データ

『学級ボード』では
問題やつまずきへの
早期発見等

『タイムライン・クラスのようにす』、『生活のようす』、『学習のようす』の3画面で
学級サマリやアラート情報を表示。児童生徒ボードへの動線の役割を担い、
問題やつまずきへの早期発見、管理職からの指導・助言や支援に活用。

学級ボード

3年1組 児童生徒ボード 個別指導の記録

元氣小学校 なにわ 太郎 ログアウト

クラスのようにす

タイムライン

基本情報

【担任】
大坂 華子
なにわ 太郎
【副担任】
大坂 花子
【特別支援】
山本 太郎

配慮事項

▶ 岩佐 春
・個別的教育支援計画／個別の指導計画あり (2019年4月8日: なにわ 太郎)
▶ 山本 太郎
・個別的教育支援計画／個別の指導計画あり (2019年4月8日: なにわ 太郎)

2019年11月22日 (金)

出席簿

▶ 秋 冬子 病欠欠席 (病欠欠席)
▶ 大田 西子 遅刻 (遅刻)
▶ 山本 太郎 健康観察 (ず 頭痛 (健康観察))

心の天気

▶ 秋 冬子 ※の登録率が53%減少 (0%-53%)
▶ 岩佐 春 ※の登録率が40%減少 (0%-40%)
▶ 大田 西子 ※の登録率が43%減少 (0%-43%)
▶ 竹中 博之 ※の登録率が67%減少 (0%-67%)
▶ 山本 太郎 ※の登録率が57%増加 (77%-20%) ※の登録率が50%減少 (3%-53%)
▶ 大坂 太郎 ※の登録率が43%減少 (0%-43%)

保健室利用

▶ 秋 冬子 10:00~11:00 外科 (骨折)
▶ 織田 ケンイチ 13:15~17:25 内科 (風邪)

共有TOPIC (生活)

▶ 織田 ケンイチ ・友人関係に悩みがある様子。(なにわ 太郎)

いいとこみつけなど (生活)

▶ 秋 冬子 ・下級生の面倒を見てくれました。(なにわ 太郎)

共有TOPIC (学習)

▶ 山本 太郎 ・授業中、集中できずクラスメイトの邪魔をしてしまう場面があったので注意した。(なにわ 太郎)

いいとこみつけなど (学習)

▶ 大坂 太郎 ・学習ドリルを一生懸命取り組んでいた。(なにわ 太郎)

次の10日間を表示

学級ボード

3年1組 児童生徒ボード 個別指導の記録

元氣小学校 なにわ 太郎 ログアウト

クラスのようにす

タイムライン

基本情報

【担任】
大坂 華子
なにわ 太郎
【副担任】
大坂 花子
【特別支援】
山本 太郎

配慮事項

▶ 岩佐 春
・個別的教育支援計画／個別の指導計画あり (2019年4月8日: なにわ 太郎)
▶ 山本 太郎
・個別的教育支援計画／個別の指導計画あり (2019年4月8日: なにわ 太郎)

2019年11月22日 (金)

出席簿

▶ 秋 冬子 病欠欠席 (病欠欠席)
▶ 大田 西子 遅刻 (遅刻)
▶ 山本 太郎 健康観察 (ず 頭痛 (健康観察))

心の天気

▶ 秋 冬子 ※の登録率が53%減少 (0%-53%)
▶ 岩佐 春 ※の登録率が40%減少 (0%-40%)
▶ 大田 西子 ※の登録率が43%減少 (0%-43%)
▶ 竹中 博之 ※の登録率が67%減少 (0%-67%)
▶ 山本 太郎 ※の登録率が57%増加 (77%-20%) ※の登録率が50%減少 (3%-53%)
▶ 大坂 太郎 ※の登録率が43%減少 (0%-43%)

保健室利用

▶ 秋 冬子 10:00~11:00 外科 (骨折)
▶ 織田 ケンイチ 13:15~17:25 内科 (風邪)

共有TOPIC (生活)

▶ 織田 ケンイチ ・友人関係に悩みがある様子。(なにわ 太郎)

いいとこみつけなど (生活)

▶ 秋 冬子 ・下級生の面倒を見てくれました。(なにわ 太郎)

共有TOPIC (学習)

▶ 山本 太郎 ・授業中、集中できずクラスメイトの邪魔をしてしまう場面があったので注意した。(なにわ 太郎)

いいとこみつけなど (学習)

▶ 大坂 太郎 ・学習ドリルを一生懸命取り組んでいた。(なにわ 太郎)

次の10日間を表示

学級ボード - アラート設定 - (校務系)

教員の気付きを促進、
声かけへつなげる

児童生徒ボードと学級ボードのアラート表示にあたり、学校ごとできめ細かい設定が可能。
決められたしきい値をもとに、アラートが出力されることで教員が気づきを得て、
児童生徒への声かけや個別指導へ活用可能。

アラート
設定

- 出欠席情報、心の天気、保健室利用において、学校が以下の条件で設定が可能。
しきい値に沿って、学級ボード、児童生徒ボードにアラートが出力。
- ・「連続何[1~20]日以上」
 - ・「何[1~4]週以上連続で特定の曜日」
 - ・「過去何[1~300]日間の割合が何[1~100]%以上」
 - ・「直近数日間とその前の数日間とを比較し、登録率の差が何%以上」
 - ・心の天気は、「過去何日間の割合が何%以下」の条件も設定可能。

編集

保健室利用の設定

連続何日以上

☐ 内科 or 外科 or その他

何週以上連続で特定の曜日

☐ 内科 or 外科 or その他

過去何日間の割合が何%以上

☐ 内科 or 外科 or その他

直近数日間（期間1）とその前の数日間（期間2）とを比較し、登録率の差が何%以上

☐ 内科 or 外科 or その他

保健室利用
アラート設定

出欠席情報
アラート設定

編集

出席簿の設定

連続何日以上

☐ 欠席

☐ 遅刻

☐ 早退

何週以上連続で特定の曜日

☐ 欠席

☐ 遅刻

☐ 早退

過去何日間の割合が何%以上

☐ 欠席

☐ 遅刻

☐ 早退

直近数日間（期間1）とその前の数日間（期間2）とを比較し、登録率の差が何%以上

☐ 欠席

☐ 遅刻

☐ 早退

心の天気
アラート設定

編集

心の天気の設定

連続何日以上

☐ 晴

☐ 曇

☐ 雨

☐ 雪

何週以上連続で特定の曜日

☐ 晴

☐ 曇

☐ 雨

☐ 雪

過去何日間の割合が何%以上

☐ 晴

☐ 曇

☐ 雨

☐ 雪

直近数日間（期間1）とその前の数日間（期間2）とを比較し、登録率の差が何%以上

☐ 晴

☐ 曇

☐ 雨

☐ 雪

過去何日間の割合が何%以下（その日の天気を対象）

☐ 晴

☐ 曇

☐ 雨

☐ 雪

アラート
表示

学級ボード

3年1組

児童生徒ボード

個別指導の記録

クラスの様子

基本情報

【担任】
大阪 幸子
なにわ 太郎

【副担任】
大阪 花子

【特別支援】
山本 太郎

配課事項

・個別の教育支援計画／個別の指導計画あり（2019年4月8日：なにわ 太郎）

・山本 太郎

・個別の教育支援計画／個別の指導計画あり（2019年4月8日：なにわ 太郎）

タイムライン

2019年11月22日（金）

出席簿

秋 冬子 病欠欠席（病欠欠席）

大田 西子 遅刻（遅刻）

山本 太郎 健康観察（ず 頭痛（健康観察））

心の天気

秋 冬子 ※ 晴の登録率が53%減少（0%-53%）

岩佐 春 ※ 曇の登録率が40%減少（0%-40%）

大田 西子 ※ 雨の登録率が43%減少（0%-43%）

竹中 博之 ※ 雪の登録率が67%減少（0%-67%）

山本 太郎 ※ 晴の登録率が57%増加（77%-20%）

大阪 太郎 ※ 曇の登録率が43%減少（0%-43%）

保健室利用

秋 冬子 10:00~11:00 外科（骨折）

細田 ケンイチ 13:15~17:25 内科（風邪）

共有TOPIC（生活）

細田 ケンイチ ・友人関係に悩みがある様子。（なにわ 太郎）

いいとこみつけなど（生活）

秋 冬子 ・下級生の面倒を見てくれました。（なにわ 太郎）

共有TOPIC（学習）

山本 太郎 ・授業中、集中できずクラスメイトの邪魔をしてしまう場面があったので注意した。（なにわ 太郎）

いいとこみつけなど（学習）

大阪 太郎 ・字習ドリルを一生懸命取り組んでいた。（なにわ 太郎）

次の10日間を表示

現在の設定

出席簿の設定

連続3日以上欠席 or 遅刻 or 早退

連続3日以上健康観察

3週以上連続で特定の曜日に欠席 or 遅刻 or 早退

3週以上連続で特定の曜日に健康観察

過去90日間の欠席 or 遅刻 or 早退の割合が15%以上

過去90日間の健康観察の割合が15%以上

直近30日間とその前の30日間とを比較し、欠席 or 遅刻 or 早退の登録率の差が30%以上

直近30日間とその前の30日間とを比較し、健康観察の登録率の差が30%以上

心の天気の設定

連続3日以上

連続3日以上

3週以上連続で特定の曜日に

3週以上連続で特定の曜日に

過去15日間の割合が50%以上

過去15日間の割合が50%以上

直近30日間とその前の30日間とを比較し、晴の登録率の差が50%以上

直近30日間とその前の30日間とを比較し、曇の登録率の差が30%以上

直近30日間とその前の30日間とを比較し、雨の登録率の差が30%以上

保健室利用の設定

連続3日以上内科 or 外科 or その他

3週以上連続で特定の曜日に内科 or 外科 or その他

過去15日間の内科 or 外科 or その他の割合が50%以上

直近30日間とその前の30日間とを比較し、内科 or 外科 or その他の登録率の差が30%以上

- アラート設定 - (学習系)

教員の気づきを促進、
指導改善へつなげる

児童生徒ボードと学級ボードのアラート表示にあたり、決められた条件を基にアラートが出力。
教員が気づきを得て、知見をもとに学習結果を分析した上で、児童生徒への個別指導や授業
改善へ活用可能。

データ連携で実現する
学習系アラート条件

共有TOPIC (学習)	
▶ 大阪 侑依	•【数学】 中間テスト：80.0% / 期末テスト：67.0% ★中間テストと比べて、期末テストの結果が下がりぎみです。(2019年7月19日(金))
▶ 大阪 紬	•【数学】 中間テスト：53.0% / 期末テスト：85.0% ★中間テストと比べて、期末テストの結果がよくなっています。(2019年7月19日(金))
▶ 大阪 柚希	•【数学】 過去の単元テストの平均：57.0% / 方程式：83.0% ★過去の単元テストの平均と比べて、方程式の結果がよくなっています。(2019年7月19日(金))
▶ 大阪 結翔	•【数学】 過去の単元テストの平均：22.0% / 方程式：4.0% ★過去の単元テストの平均と比べて、方程式の結果が下がりぎみです。(2019年7月19日(金))

■以下の条件を基に、学級/児童生徒ボードの共有TOPIC(学習)に表示可能。

1. 定期テストの比較

今回と前回の定期テストにおける個人の得点率－学年の平均得点率の値を計算し、今回と前回の差が大きい上位と下位のグループ10%

2. 単元テストの比較

今回と過去の単元テストにおける個人の得点率－学年の平均得点率の値を計算し、今回と過去の差が大きい上位と下位のグループ10%

3. テスト観点の比較

年間の単元テストおよび定期テストにおける各回の観点ごとの

個人の得点率－学年の平均得点率の値を計算し、線形近似の傾きが大きい上位と下位のグループ10%

心の天気 児童生徒入力画面

スクールライフノート

児童生徒エリア

 ○○市立元気小学校
山本 太郎

ログアウト

ホーム

生活ノート

学習ノート

心の天気

学びの天気

予定

時間割

心の天気  作成

保存

キャンセル

きもち

 はれ

 くもり

 あめ

 かみなり

▼ひとことメモ

▼基本情報

日付

2021年2月3日 (水)

時限

朝

▼オプション

キーワード

すべてのキーワード

☐ わかった ☐ わからなかった ☐ たのしかった

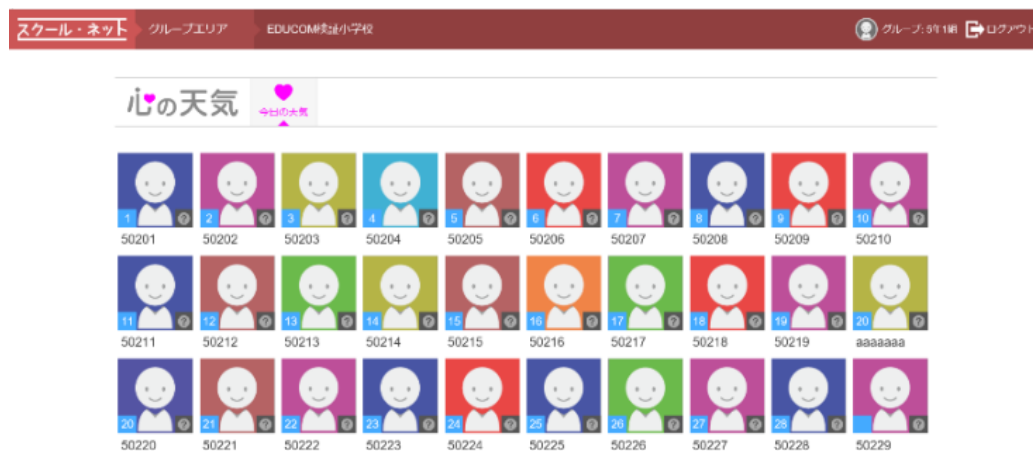
心の天気

子ども達のSOSを キャッチ

1日1回、児童生徒がそのときの気持ちにもっとも近い天気マークを選んで入力。
登録時の児童生徒の様子や日々の変化を教員が見取り、声掛けのきっかけへ。



心の天気の入力



1台のタブレットを共有しての入力



個別の教育支援計画・個別の指導計画

子ども達への
きめ細かい
個別指導を支援

個別の教育支援計画と個別の指導計画を年度ごとに登録・管理が可能。
従来の電子ファイル管理から児童生徒・学級ボードと同様にシステムで集約化。

記入日		記入者	
平成31年4月10日		なにわ太郎	
障がいの状況			
手帳の有無、相談歴、発達検査の記録等			
データがありません			
児童・生徒の実態			
学習面	行動面	社会性	その他
文章題が苦手で、自分のわからない課題を前にして、教室から退出したり、取り組むことを放棄してしまうことがある。	友人に必要以上に踏み込みすぎて、トラブルを起こしてしまうことがある。	データがありません	データがありません
本人・保護者の願い			
本人 気持ちを落ち着けて、学校生活を送りたい 保護者 子どもの心と身体が安定し、学習意欲的に取り組めるようサポートしてほしい			
支援の目標			
人や自分自身の気持ちに向き合えるよう、自ら考えるように促す			
合理的配慮の観点項目と具体的な支援内容			
項目	内容		
①-1-2	算数 ノートを横野線からマス目のあるものを使用する 国語 漢字の学習においてワークシートやタブレット型端末のアプリケーションを活用する		

[illegible]

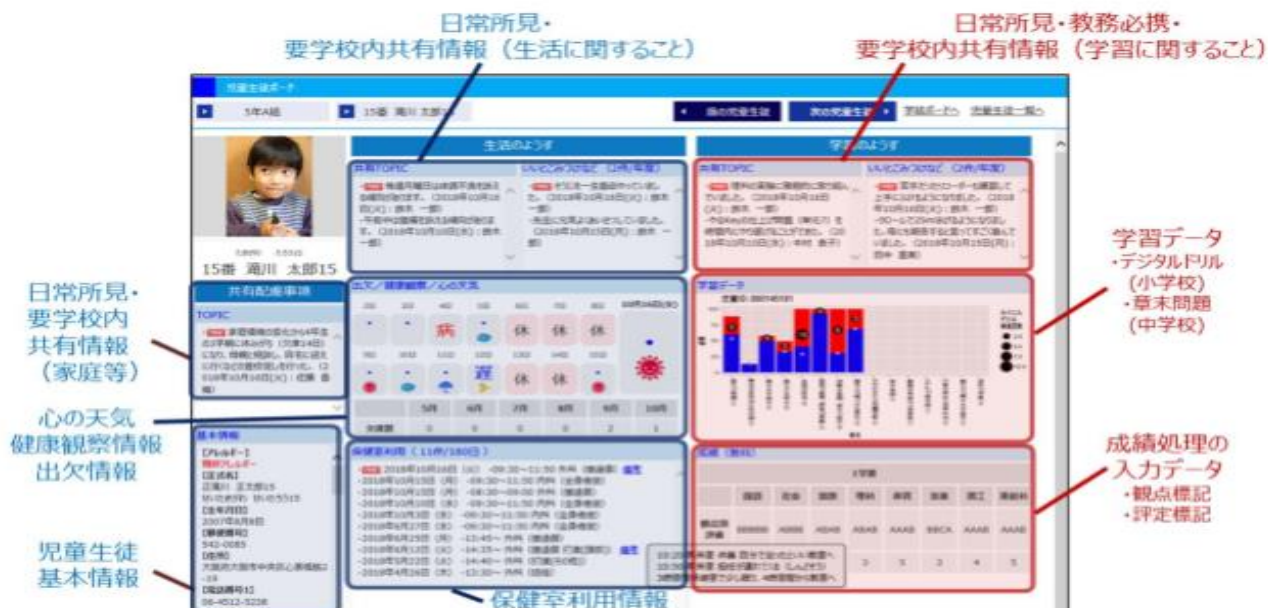
個別指導の記録		3年1組		16番 山本 太郎		2019年度の記録														
	印刷																			
	記入日	平成30年4月10日		記入者	なにわ太郎		担当者	なにわ太郎												
	年間の指導目標	・苦手な課題の時も教書から出ずに取り組みうることができ る。 ・感情が高ぶったときに、教師の促しによりクールダウンできる。							年間の指導目標設定の理由	データがありません										
	テーマ1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>指導内容</th> <th>個別の短期目標</th> <th>指導の手立て</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>授業参加</td> <td>授業中の根拠強さ</td> <td>教師が個別対応することで、着席して課題に取り組む</td> <td>・座席を前にする ・隣に行動の手本になる児童を配置する</td> <td>・言葉での説明が多くなると、落ち替かず理由を付けて離席することがあった。</td> </tr> </tbody> </table>									項目名	指導内容	個別の短期目標	指導の手立て	達成状況	授業参加	授業中の根拠強さ	教師が個別対応することで、着席して課題に取り組む	・座席を前にする ・隣に行動の手本になる児童を配置する	・言葉での説明が多くなると、落ち替かず理由を付けて離席することがあった。
	項目名	指導内容	個別の短期目標	指導の手立て	達成状況															
授業参加	授業中の根拠強さ	教師が個別対応することで、着席して課題に取り組む	・座席を前にする ・隣に行動の手本になる児童を配置する	・言葉での説明が多くなると、落ち替かず理由を付けて離席することがあった。																
テーマ2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>指導内容</th> <th>個別の短期目標</th> <th>指導の手立て</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>授業参加</td> <td>文章題を理解できるようになる</td> <td>文章題を表した図を見て問題と解くことができる</td> <td>新しい単元のはじめに、解き方が理解できるように、可能な限り個別に指導する。</td> <td>指示することにより理解しやすい模様。自信をもって取り組みでいるときもある。</td> </tr> </tbody> </table>									項目名	指導内容	個別の短期目標	指導の手立て	達成状況	授業参加	文章題を理解できるようになる	文章題を表した図を見て問題と解くことができる	新しい単元のはじめに、解き方が理解できるように、可能な限り個別に指導する。	指示することにより理解しやすい模様。自信をもって取り組みでいるときもある。	
項目名	指導内容	個別の短期目標	指導の手立て	達成状況																
授業参加	文章題を理解できるようになる	文章題を表した図を見て問題と解くことができる	新しい単元のはじめに、解き方が理解できるように、可能な限り個別に指導する。	指示することにより理解しやすい模様。自信をもって取り組みでいるときもある。																
テーマ3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>指導内容</th> <th>個別の短期目標</th> <th>指導の手立て</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対人関係</td> <td>対人との距離感</td> <td>対人との適切な距離を理解する</td> <td>担任はほかの児童生徒との仲介を行い、児童生徒の思いを代弁する</td> <td>同じ趣味の友達とは楽しく過ごしている一方で、自分が嫌わりたい友人との距離感が適切でなく、トラブルにつながることもあった。</td> </tr> </tbody> </table>									項目名	指導内容	個別の短期目標	指導の手立て	達成状況	対人関係	対人との距離感	対人との適切な距離を理解する	担任はほかの児童生徒との仲介を行い、児童生徒の思いを代弁する	同じ趣味の友達とは楽しく過ごしている一方で、自分が嫌わりたい友人との距離感が適切でなく、トラブルにつながることもあった。	
項目名	指導内容	個別の短期目標	指導の手立て	達成状況																
対人関係	対人との距離感	対人との適切な距離を理解する	担任はほかの児童生徒との仲介を行い、児童生徒の思いを代弁する	同じ趣味の友達とは楽しく過ごしている一方で、自分が嫌わりたい友人との距離感が適切でなく、トラブルにつながることもあった。																
テーマ4	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>指導内容</th> <th>個別の短期目標</th> <th>指導の手立て</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>データがありません</td> <td>データがありません</td> <td>データがありません</td> <td>データがありません</td> <td>データがありません</td> </tr> </tbody> </table>									項目名	指導内容	個別の短期目標	指導の手立て	達成状況	データがありません	データがありません	データがありません	データがありません	データがありません	
項目名	指導内容	個別の短期目標	指導の手立て	達成状況																
データがありません	データがありません	データがありません	データがありません	データがありません																

学習履歴（スタディ・ログ）等を活用した個別最適な学びの充実

教育データ利活用の基盤となるデータ標準化等の取組を加速しつつ、個々の児童生徒の知識・技能等に関する学習計画及び学習履歴（スタディ・ログ）等のICTを活用したPDCAサイクルの改善を図ることなどにより、誰一人取り残すことのないよう、個々の状況に応じたきめ細かい指導の充実や学習の改善を図ることが必要。

様々なデータを連携して活用する取組（大阪市：児童生徒ボード）

- 教員が気になる児童生徒の状況を多面的に確認することで、状況を迅速に把握し、きめ細かい個別指導ができる。
- 学校全体で問題を早期発見し、迅速な対応を取ることができる。



個々の子供に応じたよりきめ細かな指導



意見・回答の即時共有を通じた効果的な協働学習

個々の子供の状況を客観的・継続的に把握（センシング技術）



知識・技能の定着を助ける個別最適化（AI）ドリル

学習記録データに基づいた、効果的な問題や興味のあるような学習分野等のレコメンド



『データを活用する教員の一日』（抜粋）

文部科学省

「新時代の学びにおける先端技術導入実証研究事業
(エビデンスに基づいた学校教育の改善に向けた実証事業)」

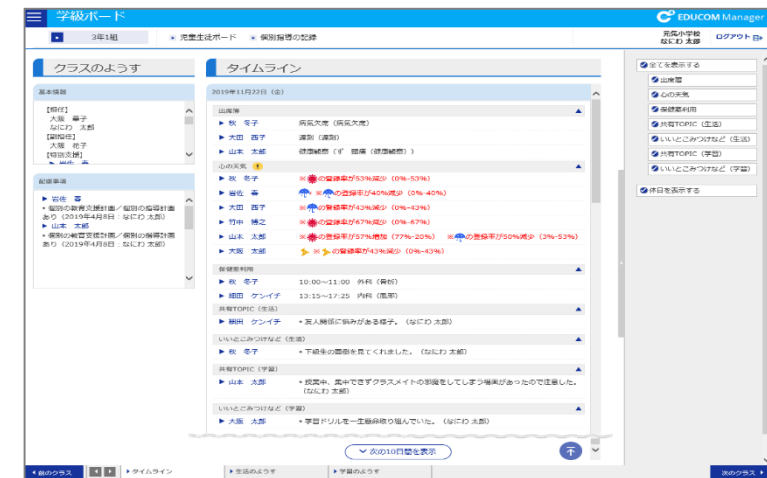
総務省

「スマートスクール・プラットフォーム実証事業」

出勤したA先生は、職員室でまずPCを開き、学級ボードの画面をじっと見つめる。いつもの習慣だ。

タイムラインに表示される新着情報やアラート等を見て、学級の状態や声掛けが必要な子どもたちを確かめていく。

今朝は、こんなことを思った。
「Bさんは、いつも特定の時間に保健室に行っている。養護教諭のC先生と相談して、一度声掛けをしてみよう。」



一人一人の詳細な情報を把握しているので、丁寧かつきめ細かな対応ができる。



各学校に導入された、統合型校務支援システムの掲示板機能を活用し情報共有することで、職員朝礼をなくした。おかげでゆっくりと、教室で子どもたちを迎えることができる。朝の会の時間に、子どもたちは心の天気を「晴れ、曇り、雨、雷」から選択し、先生の傍らでちょっとした話をしながら、登録する。

毎朝、一人一人の顔を見ながら会話する、大事な時間だ。

「Eさん、最近では遅刻が多いね。…どうしたの?」「先生、…あのね。」ちょっとした変化も見逃さないようになってきたと思う。



朝学習の時間が始まった。
子どもたちはタブレットを机に置き、
一斉にデジタルドリルに取り組み始めた。
「先生、トロフィー取れたよ!」
「すごいね、応用問題も取り組んでみるかい。」

子ども自身が学びを振り返りながら、習熟度にあわせた問題を解くことが可能となっている。

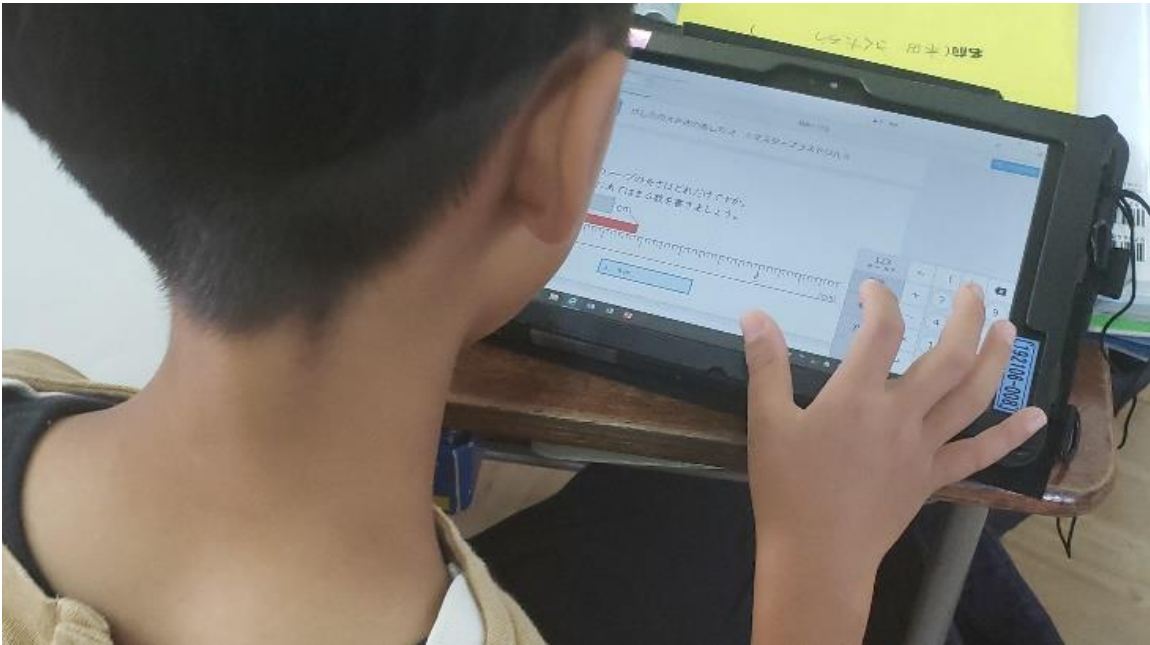
デジタルドリルに、子どもたちみんなが主体的に取り組む教室。先生は個別指導が必要な子どもの支援に力を注いでいた。



算数の習熟度別の授業。今日は単元のまとめの時間。デジタルドリルで単元の仕上げ問題に取り組ませる。子どもたちの習熟の状況を示すヒートマップをタブレットで確認し、机間巡視する。

「先生、この問題が終わったら、他の問題もしていい？」
「先生、分からないから教えて！」

つまづいている子どものそばに行き解説する。ICTと先生の個別指導を組み合わせ、個別最適化に向けて、一歩歩みを進めることができた。



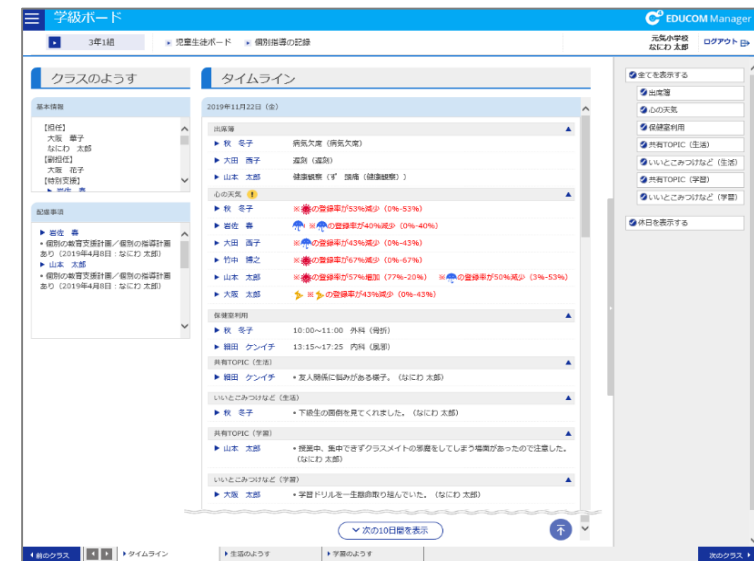
規定クラス	整理番号	児童・生徒名	1) かけ算							
			①かけ算のきまり					②0のふり		
			1	2	3	4	5	1	し	
4-1	1	児童1	4	3	3	3	2	2	3	
4-1	2	児童2	7	1	4	1	1	6	1	
4-1	3	児童3	2	2	1	1	2	1	1	
4-1	4	児童4		1	2	2	2	3	4	
4-1	5	児童5	5	2	2	1	1	1	2	
4-1	6	児童6	1	1	2	1	2	2	1	

学級ボードにおける学級の状況や、児童生徒ボードにおける一人一人の子どもたちの状況を、若手教員とベテラン教員がともに確認、分析する。

「I先生、Jさんが最近遅刻気味で、保健室利用も増えているよ。声かけてみた？心配なら、親御さんとも相談してね。」



蓄積されたデータが可視化されることで、ベテラン教員の経験や知見を活用し、詳細な状況把握や見取りを深めることができる。事案の早期発見や適切な対処についての指導法の伝承が可能となる。

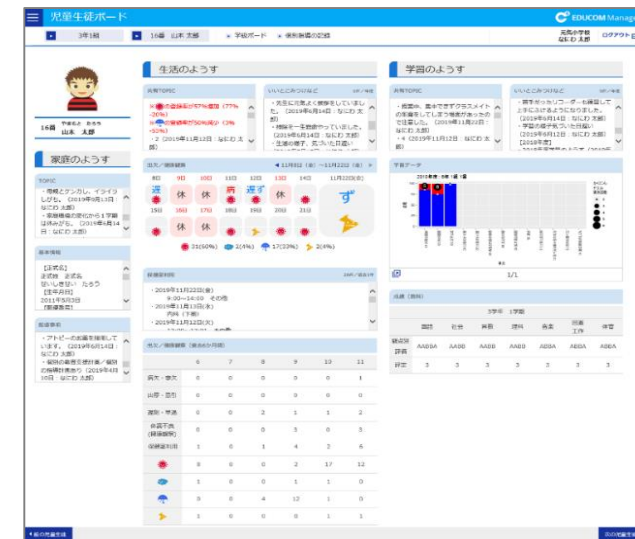
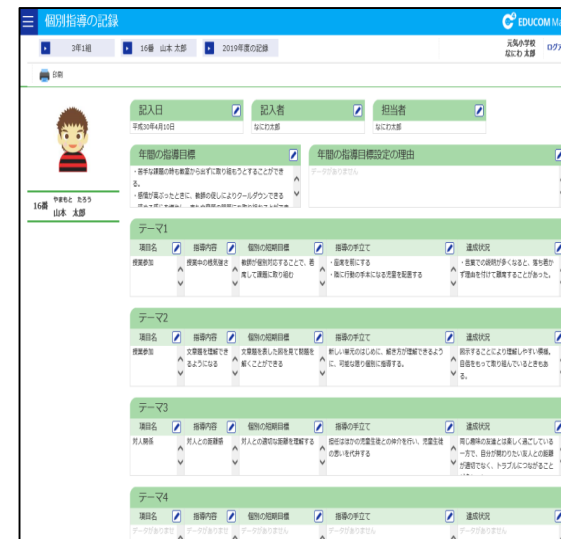


児童理解研修会や特別支援研修会、生活指導部会など、多面的に子どもたちを理解し、指導の方向性を決める会議が増えてきている。

「児童生徒ボードは顔写真もついていて、必要な情報が全て集約化されている。一人一人の子どもたちを理解し見取りを充実させることに役立っている。」

「Kさんの児童生徒ボードには、先輩教員の指導記録も記載されているな。今後、同様の事案が発生した時に参考にしよう。」

学校組織として、きめ細かな指導が可能となっている。

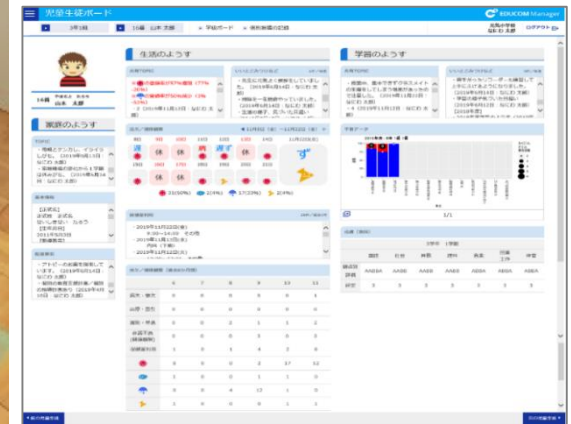


不調の訴えとなる原因がつかめない保健室利用が多く、心配な状況であった。

養護教諭のL先生は、「児童生徒ボードに集約された情報から、児童の不調の訴えとなる原因を多角的に分析してみようと思います。」と校長先生へ相談。

時間割との照合や、担任など様々な教員から声掛けした結果を分析。体育（プール）の時間など授業への苦手感が原因と判明した。

授業を離脱しがちな子どもたちの状況や対応について共有し、指導につなげられている。



保健室利用		18件/過去1年
・ 2019年11月23日(金)	9:00~14:00 その他	
・ 2019年11月13日(水)	内閣 (下欄)	
・ 2019年11月12日(火)		

教員と児童生徒が共に学び、共に育つ

指導力の向上が教育の質の向上

何となくつかんでいた「子供像」
経験で推察される「子供像」

管理職による
支援や対話

教員間での気づきや
情報を共有

生徒へのきめ細かい
個別指導を実現



スタディログ
(学習の様子)

ライフログ
(生活の様子)

アシストログ
(指導記録)

エビデンス

エピソード

エビデンスを伴う明確な「子供像」きめ細やかな指導による質の向上、安心・安全な学校運営の実現